

# 目 次

美わしき富野校	1
富野っ子活動（平成14年度）	3
創立50周年記念事業スナップ	5
<b>【式辞・祝辞】</b>	
式 辞	期成会長 島 仲 重 雄 ----- 6
挨 拶	学校長 下 里 隆 ----- 7
挨 拶	P T A会長 知 花 俊 明 ----- 8
挨 拶	石垣市長 大 濱 長 照 ----- 9
祝 辞	石垣市教育委員会教育長 村 田 栄 正 ----- 10
祝 辞	八重山教育事務所長 志喜屋 清 ----- 11
<b>【除幕式・式典・祝賀会】</b>	
記念碑除幕式次第	12
式典次第	13
記念祝賀会プログラム	14
感謝状受賞者ご芳名	15
50周年スナップ	16
<b>【50周年を迎えて】</b>	
50さいおめでとう	小2年 ちばな ももこ ----- 24
とみの校50さいおめでとう	小2年 やなぎさわ ゆき ----- 24
富野校50周年	小3年 永 尾 乃 亜 ----- 24
50周年おめでとう	小4年 知 花 壮一郎 ----- 25
大好き富！野野校	小5年 知 花 茜 ----- 25
富野校、サイコー	小6年 永 尾 真来人 ----- 25
贈ることば	中1年 宮 村 龍 三 ----- 26
創立50周年	中2年 永 尾 来津樹 ----- 26
心に残るブーゲンビリア	養護教諭 慶田盛 みほ子 ----- 27
富野校50周年の節目に	小教諭 工 藤 直 也 ----- 28
富野校50周年に寄せて	中教諭 喜友名 朝 和 ----- 28
50周年おめでとう！	教 頭 知 花 孝 雄 ----- 29
懐かしき富野校	元職員 仲本恒子(旧姓：川上) -- 30
富野校の思い出	10代校長 大 仲 康 文 ----- 32
思い出	12代校長 波 平 長 吉 ----- 33
50周年を節目に	13代校長 鳩 間 真 英 ----- 34
<b>【学校沿革】</b>	36
<b>【記念誌に見る思い出】</b>	
○創立5周年記念誌より	102
・宮城 照明 ・砂川重太郎 ・富村 光子	
○創立30周年記念誌より	106
・上地真喜子 ・堀川英則 ・比嘉 良則 ・山城京子 ・新垣精一 ・知花静枝	
・又吉カツ子 ・大田正吉 ・大浜 孫佑 ・仲本正貴 ・大田千枝 ・山田恵子	
・知花 義信 ・池城安祥 ・堀川モヲシ ・池原健昌 ・上地武俊 ・石井洋子	
・菊池 幸子	
○創立45周年記念誌より	128
・波平長吉 ・大盛哲雄 ・玉城正浩 ・立津 舞 ・中瀬古 昇	
<b>【記念事業概要】</b>	
50周年記念事業規制会会則	133
期成会趣意書	135
期成会活動経過及び事業報告	137



式辞・祝辞





## 式 辞

期成会長 島 仲 重 雄

さわやかな秋を迎えここに大濱長照石垣市長 村田栄正教育長 高嶺善伸県議会議員 来賓各位をはじめ、P T A、卒業生、在校生、地域住民多数のご臨席を頂き、石垣市立富野小中学校創立50周年記念式典、並びに祝賀会が盛大に挙行できますことは、本校の誇りであり、この上ない喜びとして衷心より厚く感謝とお礼を申し上げます。

本校は昭和27年2月27日川平小中学校富野分校として、八重山郡島政府より認可され、建坪、16坪の木造瓦葺平屋校舎一教室で同年4月29日開校しました。開校当時は先住の富野の人々と琉球政府の移民計画により、読谷村・美里村から移住して来た人達が風土病（マラリヤ）や天災と闘いながらジャングルを切り開き開拓に励んだ苦難の時代でした。 厳しい生活のなかにありながら困難を克服し、50周年を迎える事が出来ますことは、本校発展のためにご尽力いただいた歴代校長先生をはじめ、諸先生方さらに地域住民の燃えるような努力とご苦勞の賜であり、心から敬意と感謝を表する次第であります。

本校はこの半世紀に、逞しい開拓魂を持った200余名の卒業生を送り出す事ができ、現在県内外各地各界で活躍していることは、実に心強く本校の誇りです。50周年の意義深い歩みを祝福し、先人のご苦勞に感謝すると共に、学習環境を整備し子ども達の学習の向上と本校教育の充実発展を期する為、学校、P T A、卒業生、地域が一体となって、記念事業期成会を発足し ①記念碑の建立 ②記念誌の発刊 ③教育環境の整備を計画し、その実現のため努力して参りました。しかし、これらの事業には多額の資金が必要であり各方面に物心両面のご援助をお願いして参りました。社会経済状況の厳しい折にも関わりませず、校区民はもとより、卒業生、本校子弟教育に関心を寄せて下さいました篤志家のご芳志とご援助をいただき、ここに記念事業が完成することが出来ましたことは、感謝と感激の外なく、皆様のご支援ご協力に対し深甚なる敬意と感謝を捧げたいと思います。

結びに、私達は、この輝かしい50年の歴史と揺るぎない伝統を受けとめ、年々生徒数が減っていきなかに百周年に向けた新しい指標となるべきものを残さなくてはなりません。平和を願い、本校の限りない発展とご臨席いただきました皆様のご多幸を心からお祈り申し上げます。



## あいさつ

石垣市立 富野小中学校  
校長 下 里 隆

本日ここに本校創立50周年の記念すべき日を迎え、大濱長照市長をはじめ多くの来賓の方々、創立50周年期成会員、保護者の方々並びに本校教育向上にご尽力下さいました皆様のご臨席をいただき創立50周年記念式典がこのように盛大に挙行できますことは誠にこの上ない喜びであり関係者の皆様方に心から厚くお礼申し上げます。

さて、本校は昭和27年2月27日、川平小中学校富野分校として八重山群島政府により認可され、同年4月29日、児童数7名で開校しました。住民のほとんどは読谷村や美里村からの計画移民や自由移民でした。

当時は悪性マラリアが横行する中ジャングルを切り開く毎日であったが、住民達の学校教育に対する熱意は強く、行政に働きかけ廃校になっていた分校を再開し5年後には富野小中学校として独立することができました。あれから50年が経ち卒業生は206名を数え、島内は勿論のこと、沖縄本島、本土でも立派な社会人として大活躍をしています。先輩達がつくりあげた素晴らしい校風と伝統は今でも後輩達に引き継がれています。

開校以来、心身共に健康でたくましい子どもの育成をめざして「自ら学び深く考える子」「心豊かで自己表現に努める子」、「健康でねばり強い子」、「勤労を尊び郷土を大事にする子」を教育目標に掲げ教育実践を積み重ねて参りました。50年間における本校児童の活動にはめざましいものがあります。主な足跡を振り返ってみると八P連主催意見発表会での最優秀賞、人権作文コンテスト沖縄大会での最優秀賞、沖縄教育版画コンクールでの特選、第2回八重山郡小中学校陸上競技大会での200m(1位)走幅跳(2位)少ない児童生徒数ですが文化面でもスポーツ面でも頑張っています。

特に子どもと職員が毎日積極的に取り組んでいる環境整備。道行く人々も必ず足を止めて眺めるタイワンレンギョとアカリィファでつくられた「とみの校」の文字。年中絶えることのない花と緑の学校。甲斐逢って花壇コンクールで3年連続最優秀賞に輝いています。

これらの実績は言うまでもなく歴代校長はじめ教職員、PTAの方々の努力の賜であり深く感謝しているところでございます。さらに、この記念すべき年に石垣市当局のご高配により情報機器及び校内ランの設置が充実されたことに対しても感謝申し上げます。すでに小学2年生から中学2年生までの全校児童生徒がコンピュータを活用した授業に取り組んでいます。今後も更に指導法等の工夫改善をし次代を担う子ども達の教育効果を最大限に上げるよう努力して行きたいと思っております。

50周年の輝かしい節目に当たり本校の新なる発展を願って「創立50周年事業期成会」が結成され、記念碑建立、記念誌編集、富野行進曲のCD化、環境整備等の諸事業を推進していただきここに記念式典を開催することができました。記念事業に誠心誠意ご尽力くださいました皆様方に深く感謝申し上げます。

私たちは、皆様のご厚情に応え、記念式典を契機に心を新たに、本校児童生徒の教育により一層努力することを誓い申し上げあいさつといたします。



## あいさつ

PTA会長 知花 俊明

秋風もさわやかなこちよい季節を迎え、本日ここに富野小中学校創立50周年記念式典を挙げる事ができます事に心よりお慶び申し上げますと共にPTAを代表してお祝いのあいさつができます事は身にあまる光榮に存じます。

さて富野小中学校は昭和27年2月27日に川平小中学校富野分校として八重山郡政府より認可され、同年4月29日、児童数7名、初代校長大田正吉先生の元に富野小中学校としてスタートいたしております。

以来、昭和、平成の時代の流れと共に歩み、その間優秀な卒業生を数多く送り出し郷土八重山をはじめ、県内外の各界でご活躍され、社会の発展に大きく貢献しておられる事は私達の大きな誇りと喜びであり、母校の名誉として心より敬意を表するものであります。

昭和40年代には100名以上の生徒数があり活気あふれる時期もありましたが、大型台風や干ばつの影響で市内や沖縄、あるいは宮古島へ次々と引っ越しされた家族があり生徒数もだんだんと減って、今では8名の生徒が頑張っています。

昭和61年には中学校が休校となり、中学校廃校の心配もされましたが、それらの苦難を克服し今日に至ったのも諸先輩方、歴代校長先生をはじめ、諸先生方、地域の皆様方のご尽力のたまものだと深く感謝申し上げます。

現在、生徒数8名ですが本日の50周年を機に本校生徒としての誇りと自信をもち、この自然に恵まれたすばらしい環境の中で勉強やスポーツに励む事と思います。

私たちPTAといたしましても学校、地域と一体となって子供達の大きな夢と希望にみちた勉強のできる環境づくりに努めていきたいと思っておりますので、皆様方の一層のご指導とご支援を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

結びに50周年記念事業に際し、ご協力を頂きました卒業生はじめ関係機関、地域の皆様に心より深く感謝申し上げますと共に、記念事業を企画されました期成会長や役員の皆様や校長先生はじめ諸先生方関係者各位に対し心から敬意を表し厚くお礼申し上げます。

今後共富野小中学校の限らない発展を祈念して私のあいさつといたします。



## 祝 辞

石垣市長 大 濱 長 照

本日ここに、石垣市立富野小中学校が創立50周年を迎え、記念式典が厳粛のうちにも盛大に執り行われますことは、誠に意義深く心からお祝い申し上げます。

校史にひとときわ輝く半世紀の歴史の節目を、児童生徒の皆さん父母の皆様並びに下里隆校長先生はじめ諸先生方並びに地域の皆様と共々にお喜び申し上げます。

さて、富野地区は昭和27年、戦後の厳しい環境の中を琉球政府の移住計画により読谷村や美里村から新天地を求める人々が米原に新しい集落をつくり、富野先住の人々と協力し風土病のマラリヤが横行するジャングルを開墾し集落の進行発展を遂げてきました。日々の生活もままならないなか子弟の教育こそ最重要課題として学校建設に向けて様々な活動に取り組み、昭和27年川平小学校富野分校として設立昭和32年富野小学校、富野中学校として独立校となり幾多の変遷を経て、実に半世紀の歳月を数えてきました。

この50年の歩みには、戦後教育制度や施設等の大きな困難がありましたが、教職員はもとより校区民をはじめ地域の皆様の教育に対する情熱によって、今日を迎えていることは改めて申し上げるまでもありません。

この長期にわたり皆様は、その時代、時代を力強く生きてこられ、幾多の辛苦と困難を克服し、営々として教育に従事され数多くの有為な人材を輩出させて県内外各界で活躍し本校の今日の隆盛をもたらしたことは、ひとえに歴代諸先生方並びに関係者皆様の献身的なご尽力の賜であり、心から感謝申し上げます。

ご承知のとおり、当地における群外からの開拓移住は、戦後沖縄の置かれた内外の厳しい諸情勢のもとで実施されておりましたが、未開の沃野に希望をもって当地に移住された皆様には筆舌に尽くせぬ困難が待ち受けておりましたが、たゆみない不屈な開拓魂により新天地を切り開いてまいりました。

道路交通機関の未発達、風土病のマラリアの恐怖など様々な困難に遭遇されていたなかでも、まずは師弟の教育環境の整備に力を注いだことは、校区民皆様の意欲的な開拓魂の表われであり、歴史を刻む輝かしい一つの足跡でもあります。

花壇コンクールにおいては連続3年最優秀賞を獲得するなど道行く人々に美しい草花を楽しませており、石垣市市民憲章の実践校としても顕著な実績をのこしております。

本日よりさらに、新たな歴史を踏み出すこととなりますが、本校で学ばれる児童生徒の皆さんは数少ないけれども、伝統ある母校の歴史を礎として、このような立派な学校、地域で学び育つことを喜び、諸先生方や父母のご指導のもと、元気で勉強に励まれるようお願いいたします。

当地は近年、八重山ノヤシや荒川ヒカンザクラなど国の天然記念物や美しい海岸線を有した米原のキャンプ場など行楽地や観光地の名所としても県内外に知られておりこれからますます脚光を浴びる地域となることでしょう。

最後に、50年の星露を重ねた富野小中学校の偉容を誇りとする皆様と共に喜び、この歴史を更に意義あるものとし、子供達が未来に向かって明るくたくましく成長することを願い、併せて富野小中学校のますますのご発展と皆様方のご鞭撻をお祈り申し上げ祝辞といたします。





## 祝 辞

石垣市教育委員会教育長 村 田 栄 正

本日ここに石垣市立富野小中学校が創立50周年の輝かしい佳節を迎えられ、児童生徒、ご父母、先生方をはじめ卒業生、地域の皆様様の臨席のもと盛大な記念式典が挙行されますことを皆様と共に心から喜び、お祝い申し上げます。

さて、富野小中学校の50年の沿革史をひもときますと、昭和27年に川平小学校富野分校として設置認可され、翌年には中学校が設置されております。それから5年後の昭和32年、名実共に石垣市立富野小中学校として独立を果たします。

その間、仮校舎が台風で何度となく倒壊するなど災難に見舞われましたが、子供の教育に惜しみない情熱を注ぐ地域の皆さんが一致団結してその建て替えに当たられたと、伺っております。樺海開拓移民団として入植され、日々の生活もままならい中、学校教育に格段の理解と絶大な支援をしていただき、創立5年、10年、30年など節目節目には記念事業を行い、教育環境の更なる整備に取り組んでこられましたことに衷心より敬意を表し、感謝申し上げます。

新天地での生活の厳しさや前途への不安に耐え得たのは、豊かで新しい生活の確立という不退転の決意と、子どもたちの明るい未来を思い描く希望があったからではないでしょうか。皆さんの子どもたちに寄せる強い思い、学校に寄せる期待の大きさがひしひしと伝わって参ります。

今日、社会経済のあまりにも大きな変化やあいつぐ自然災害などによって多くの方々が村を去られ、過疎地と化してしまっていますが、このような過酷な時代状況の中にあっても村を守り、学校を守って来られた方々のご尽力のおかげで富野校はカブよく歴史を刻み続けています。

富野小中学校は、図書館モデル校や基礎学力向上研究校などの指定を受け、数々の研究実践を重ね、大きな成果を上げてこられました。緑化や花壇コンクールなどにおいても目覚ましい実績がございます。花壇コンクールにおいては平成8年度から3年連続最優秀賞という快挙を成し遂げました。

このように地域の全支援のもと、心おきなく充実した学校経営を展開する富野校は優秀かつ誠実な人材を多数世に送り出し、各界、各層で活躍しておられますことは石垣市の誇りでもあります。本校の歴史の中には一時期中学校が廃校となり、また復活するなど紆余曲折がありましたが、現在では立派な体育館や音楽室などの特別教室ができました。ランチルームの建設や庭園の整備もそうです。また、情報化時代にふさわしく校内ランが他校に先駆け整備されております。このように整った環境の中で伸び伸びと学習できる子どもたちの将来には大きな期待が持てます。

結びに、本記念事業の推進にご尽力くださった期成会長や学校長をはじめとした関係各位に心から感謝申し上げ、富野小中学校の益々の発展とご臨席賜った皆様のご多幸を祈念し、祝辞といたします。



## 祝 辞

沖縄県教育庁八重山教育事務所  
所 長 志喜屋 清

このたび、校区民こぞって学校創立50周年の記念式典を盛大に挙行されますことをご列席の関係各位とともに心から慶び、お祝い申し上げます。

さて、富野小中学校の50年の歩みを顧みますと、昭和27年2月に川平小中学校富野分校として八重山群島政府より認可されて同年4月に開校のスタートを切り、翌年2月には川平中学校富野分校としても認可されております。当時、開拓移民として地域に移住した方々の子弟の受け入れもあって児童生徒の在籍が24名であったと沿革には記されています。校区・地域住民は、生活の地を切り開いていくという厳しい環境の中にありながらも、子弟の教育に対する思いは熱く、人づくりという偉大な事業に立ち上がり、今日にみるような大きな業績を残されました。

爾来、激動きわまりない社会情勢の中、幾多の苦難や試練を克服し、『教育なくして開発なし』との先人たちのかたい信念が、着実な教育実践を生み、数多くの人材を輩出し、輝かしい歴史と伝統を築き上げる礎となりました。

富野小中学校は、地域にねぎし、豊かな自然と、へき地小規模校の特性を生かした特色ある教育活動を推進しています。その成果は子どもたちの活躍として顕著に現れました。「花と緑の富野校づくり」を合い言葉に、学校内外の美化に取り組み、石垣市の花壇コンクールで平成8年度から3年連続の最優秀賞を受賞しています。また、地域のボランティア・清掃活動や環境学習にも児童・生徒会が積極的に活動を展開し、「樹木の大气浄化能力チェック」で感謝状の受賞、「子どもの地球環境作文コンクール」での表彰などすぐれた実績をあげています。

さらに、日本英語検定努力賞の2年連続受賞、漢字能力検定の全校的な取り組み、人権作文コンクールでの最優秀賞をはじめ、各種コンクールで常に入賞を果たすなど、児童・生徒個々の能力を伸張させる教育活動には素晴らしいものがあります。

21世紀は科学技術の発展や高度情報化社会の実現により社会が大きく変化していきます。このような社会の変化に対応してみずから学ぶ意欲を育て、豊かな表現力とねばり強さを持つ児童生徒を育成することが求められています。富野小中学校におかれましても、50年の伝統を基礎としてこれからの国際社会に活躍する人材育成に、学校、PTA、地域の方々の英知を結集して三位一体となってお尽力くださいますことを切望いたします。

児童・生徒の皆さん、富野小中学校創立50周年というすばらしい年にめぐり逢わせた幸せを大切に、決意も新たに、よりよい富野校づくりに励んでください。21世紀は君たちの時代です。社会に役立つ立派な人間、たくましい人間に成長することを願っています。

結びに、創立50周年の節目にあたり、記念事業期成会の皆様をはじめ歴代校長、地域住民、父母の皆様並びに関係各位に対し深甚なる感謝と敬意を表し、富野小中学校の限りない発展を心から祈念いたしまして、お祝いのことばといたします。

# 記念碑除幕式次第

日時：平成 14 年 11 月 10 日（日）

午後 1 時～ 1 時 3 0 分

司会：喜友名 朝 和

○ 参加者（全児童・生徒、職員、期成会役員、PTA他）

1. 開式のことば…………… P T A 副会長 宮 村 和 男
  2. 校歌斉唱……………（指 揮）城 田 葉 子
  3. 除 幕…………… 期成会長 島 仲 重 雄  
学校長 下 里 隆  
児童・生徒代表 柳 沢 有 希  
知 花 桃 子  
P T A 会長 知 花 俊 明  
記念事業委員長 津 波 貞 夫
  4. 式 辞…………… 期成会長 島 仲 重 雄
  5. あいさつ…………… 学校長 下 里 隆  
児童・生徒代表 永 尾 真来人
  6. 閉式のことば…………… P T A 役員 中瀬古 昇
- ※ アトラクション（棒術）…………… 米原部落青年会長 津波行雄 他

# 記念式典次第

日時：平成14年11月10日（日）

午後1時50分～2時50分

場所：富野校体育館

司会：玉城勝一

1. 開式のことば ..... 期成会 知花淳治
2. 黙 禱 ..... 司 会
3. 校歌斉唱 ..... (指揮) 城田葉子  
 (伴奏) 西島本貴子
4. 式 辞 ..... 期成会長 島仲重雄
5. 経過報告 ..... 事務局長 知花孝雄
6. あいさつ ..... 学校長 下里隆  
 P T A会長 知花俊明  
 児童生徒代表 永尾来津樹
7. 感謝状贈呈 ..... 期成会会長 島仲重雄  
 学校長 下里隆
8. 祝 辞 ..... 石垣市長 大濱長照  
 市教育委員会教育長 村田栄正  
 沖縄県教育庁八重山教育事務所長 志喜屋清
9. 祝電披露 ..... 司 会
10. 閉式のことば ..... 期成会 知花 聡

# 記念祝賀会プログラム

日時：平成14年11月10日（日）

午後3時～午後5時

場所：富野校体育館

司会：入字部 弘光

- |                   |       |         |                 |
|-------------------|-------|---------|-----------------|
| 1. 開会のことば         | ..... | 記念誌副委員長 | 平 田 公 子         |
| 2. かぎやで風          | ..... | 期成会長    | 島 仲 重 雄         |
|                   |       | 学校長     | 下 里 隆           |
|                   |       | P T A会長 | 知 花 俊 明         |
|                   |       | 副会長     | 前 津 明 美         |
|                   |       | 募金委員長   | 砂 川 孫 秀         |
|                   |       |         | 砂 川 安 江         |
|                   |       | 事業委員長   | 津 波 貞 夫         |
|                   |       | 記念誌委員長  | 南 苗 子           |
| 3. 乾杯の音頭          | ..... | 沖縄県議会議員 | 高 嶺 善 伸         |
| 4. 鷺の鳥節           | ..... | 卒業生     | 大底恵子・仲榊光子・宮城よし子 |
| 5. 安里屋ユンタ         | ..... |         | P T A、宮村和男他     |
| 6. スピーチ           | ..... | 前校長     | 鳩 間 真 英         |
| 7. 三味線合奏・富野っ子エイサー | ..... |         | 児童生徒・職員         |
| 8. スピーチ           | ..... | 元校長     | 波 平 長 吉         |
| 9. 桴海口説           | ..... | 卒業生     | 玉 城 重 雄 他       |
| 10. マミドーマ         | ..... | 学校職員    | 慶田盛みほ子他         |
| 11. スピーチ          | ..... |         | 卒 業 生           |
| 12. 楚辺エイサー        | ..... |         | 知花聡他、楚辺有志       |
| 13. 空 手           | ..... |         | 知花恵里奈・古見南津子     |
| 14. スピーチ          | ..... |         | 卒 業 生           |
| 15. 富野校行進曲        | ..... | 卒業生     | 砂川なり子他全員        |
| 16. 万歳三唱          | ..... | 富野公民館長  | 砂 川 孫 秀         |
| 17. 閉会のことば        | ..... | 期成会副会長  | 前 津 明 美         |

【地謡：唄・三味線/浦崎宜浩・黒島 聡 太鼓/山根 聡 笛/南風野喜吉】

# 感謝状・表彰状受賞者ご芳名

## 1) 50周年記念事業

### ○高額寄付者

堀川 モヲシ 様 やえやま 石材 有限会社 高嶺酒造所 鳩間 真英 様 知花 孝雄 様	仲嵩 精一 様 米子 焼工 房 仲本 英功 様 砂川 係秀 様	亀川 功 様 石垣島製糖株式会社 波平 長吉 様 下里 隆 様
---	--	--

### ○物品寄付者

仲本 英立 様 津波 貞夫 様 (共立開発株式会社)	名嘉真 強 様 知花 忠 様	知花 俊明 様
----------------------------------	-------------------	---------

## 2) 教育活動功労

### ○歴代校長

第5代	國吉 長庸 様	S47.4~S49.3	第11代	玉城 正浩 様	H 6.4~H 8.3
第9代	大盛 哲雄 様	S60.4~H 1.3	第12代	波平 長吉 様	H 8.4~H11.3
第10代	大仲 康文 様	H 1.4~H 6.3	第13代	鳩間 真英 様	H11. ~ H14.3

### ○歴代PTA会長

第9.14代	真栄里 昌茂 様	第16代	上地 恒雄 様	第20代	宮村 和男 様
第10代	宇根 一男 様	第17.21代	砂川 係秀 様	第22.24代	永尾 幸弘 様
第13代	仲本 英功 様	第18代	上地 源福 様	第23代	中瀬古 昇 様
第15代	堀川 清春 様	第19代	底原 英順 様		

## 3) 特別功労

故 大田 正吉 様 (初代校長)	初代校長として、本校の礎をきずき、校区の村づくり、人づくりに貢献するのみならず、平成7年にはテントを寄贈するなど、折に触れて本校教育に深い理解と愛情を注ぎ、物心両面の貢献をした。
---------------------	---

島 仲 重雄 様	本校の2期卒業生として、創立30周年・50周年の期成会長を引き受け、本校の発展に寄付した。
----------	---

砂川 係秀 様	本校6期卒業生として、創立30周年の募金活動、平成7年の体育館落成記念校庭整備や創立50周年記念事業の募金活動を精力的に取り組み本事業に多大な貢献をした。
---------	---



# 除幕式



除幕式



祝辞を述べる学校長 下里隆氏



式辞を述べる期成会長 島仲重雄氏



校歌を歌う児童生徒



参列者



喜びを語る児童会長 永尾真来人君



# 除幕式



参列者



友情出演：石中吹奏楽部



祝いのドラ・太鼓・ボラを響かせる



棒術メンバーの卒業生



アトラクション棒術



アトラクション棒術



# 記念式典



期成会役員



祝辞を述べる石垣市長 大濱長照 氏



挨拶をする学校長 下里隆氏



祝辞を述べる石垣市教育長 村田栄正氏



喜びを語る生徒会長：永尾来津樹 君



感謝状受賞者の皆様

# 記念式典



式辞を述べる島仲重雄 氏



喜びを語るPTA会長 知花俊明 氏



感謝状を受ける上地恒雄 氏



感謝状を受ける堀川モヲシさん



感謝状を受ける砂川孫秀 氏



感謝状を受ける10代校長 大仲康文 氏



# 祝賀会



あいさつをする記念誌副委員長 平田公子氏



期成会役員による座開き



職員による「マミドーマ」



祝賀会進行 入宇部氏



児童生徒職員による三線演奏



PTAによる「あさどうや」

# 祝賀会



スピーチする元校長  
鳩間真英氏



祝賀会歓談



祝賀会歓談



スピーチする元校長  
波平長吉氏



卒業生による「校歌ダンス」



空手・演舞



# 祝賀会



鷺の鳥を踊る卒業生



会場入口（体育館）



カチャーシーを踊る皆さん



恩師・仲本先生の思い出を語る知花聡さん



富野っ子の祝エイサー



祝賀会参加の地域の皆さん



# 祝賀会



受付の保護者 卒業者



記念碑「美ら心」の前で



記念Tシャツを販売する砂川姉妹



庭園での湯茶の接待



富野っ子エイサー隊



牛汁を振舞う仲本さん